

背景：CO₂排出量報告の要請

国内外からの要請で、国内主要荷主あるいは大手運送事業者は2050年のカーボンニュートラルに向けた自社のCO₂排出量低減の取り組みについて、国や出資者などへ報告が必要となっています

海外 2017年 6月 TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)により「気候変動の企業や機関の財政面への影響」についての情報開示を推奨する提言が報告される。
2023年 6月 ISSB(国際サステナビリティ基準審議会)より、サステナビリティ開示基準の最終案が提示される。

国内 2021年 5月 JPX(日本取引所グループ)はプライム市場上場企業に対し、2022年4月以降はTCFD報告を原則化。
2023年 4月 「地球温暖化対策の推進に関する法律」の一部改正により、「特定事業所排出者」※1および「特定輸送排出者」※2 に対し、温室効果ガス排出量報告が義務化された。

※ 1 事業者全体の原油換算エネルギーの全体使用量が1,500kl/年以上

※ 2 貨物輸送業者に輸送させる貨物量が3,000万トンキロ/年以上の荷主、または輸送能力の合計が200両以上の貨物輸送事業者

各企業は自社の『CO₂排出量低減に向けた取り組み』を、社外へ定期的に報告することが必要になっており、企業の事業活動によるCO₂排出量には原材料や製品の輸送による分も含まれていることから、**運送事業者が荷主企業よりこれらの輸送によって発生したCO₂排出量を問われるケースが増加している。**

CO2排出の見える化に関する業界の動き

全日本トラック協会

『トラック運送業界の環境ビジョン2030』を発表

メイン目標：『トラック運送業界の環境ビジョン2030』

トラック運送業界全体の2030年のCO₂ 排出原単位を2005 年度比で31%削減

サブ目標2：『トラック運送業界の環境ビジョン2030』

各事業者が自社車両のCO₂排出総量またはCO₂排出原単位の把握を目指す

CO₂排出総量またはCO₂排出原単位の把握を目的に

「トラック運送事業者用CO₂排出量簡易算定ツール」を公表

トラック運送事業者用 CO₂排出量簡易算定ツール（トライアル版）使い方マニュアル



全日本トラック協会HPより

自社の持つデータの種
類によって複数の算定
ツールが用意されている

自社に適した帳票フォーマットと記載例

自社の持つデータの種類によって、算定に使用する帳票フォーマットが分かれます。

「使い方マニュアル」の「ステップ判定フローチャート」と「シート選択フローチャート」の結果から、自社に適した帳票をダウンロードし、「記載例」を参考にしながら、データを入力しましょう。

NO.	帳票名および必要なデータ	使い方マニュアルの頁	帳票	記載例
1	[STEP 1] A-1 事業所ごと・年一括の燃料使用量	9		
2	[STEP 1] A-2 全社一括・月ごとの燃料使用量	10		
3	[STEP 1] A-3 全社一括・年一括の燃料使用量	11		
4	[STEP 1] B-1 事業所ごと・年一括の燃料費	12		
5	[STEP 1] B-2 全社一括・月ごとの燃料費	13		
6	[STEP 1] B-3 全社一括・年一括の燃料費	14		
7	[STEP 2] A 事業所ごと・月ごとの、車両ごとの燃料使用量と走行キロ	18		
8	[STEP 2] B 全社一括・月ごとの、車両ごとの燃料使用量と走行キロ	20		
9	[STEP 2] C 全社一括・年一括の、車両ごとの燃料使用量と走行キロ	21		
10	すべての帳票フォーマットまとめ（保護なし）	—		

3つの《サブ目標》達成に向けて取り組み

トラック運送業界のカーボンニュートラルのためには、業界全体で取り組むという意識のもと、トラック運送事業者、全日本トラック協会、都道府県トラック協会の三者が、具体的な目標に向けて行動することが効果的です。

『トラック運送業界の環境ビジョン2030』では、トラック運送業界全体で取り組めるように、「メイン目標」のもとに3つの《サブ目標》を設定します。

サブ目標1



車両総重量8t以下の車両について、2030年における電動車の保有台数を10%とする

●政府の「グリーン成長戦略」における商用車の目標[※]を満たすためのトラック運送業界全体の目標として、全日本トラック協会が都道府県別のハイブリッドトラックや電気トラックなどの保有台数を毎年把握、公表します。

※[2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略（令和3年6月）において「商用車における目標」として、「車両総重量8t以下の小型の車について、2030年までに新車販売で電動率20～30%」を目標することを掲げています。

サブ目標2



各事業者が自社の車両のCO₂排出総量またはCO₂排出原単位を把握することを目指す

●全日本トラック協会が提供するCO₂排出量計算ツール[※]を使用し、各社で算出して自社の現状を把握することを目指します。

●さらにCO₂削減のための目標を設定し、実際の行動に結びつけます。

※全日本トラック協会のホームページに「トラック運送事業者用CO₂排出量簡易算定ツール」と、その「使い方マニュアル」を掲載します。

サブ目標3



全日本トラック協会と全都道府県トラック協会が共通で取り組む「行動月間」を設定する

●国などが定めた月間設定に歩調をあわせて、全国のトラック協会がイベントや広報活動を行います。

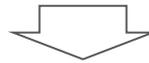
環境月間	6月	緑化、省エネ、ゴミ減量、SDGsなど環境保全に係ることすべてが対象
エコドライブ推進月間	11月	アイドリフトストップなどエコドライブにつながる活動が対象

・各地の状況にあわせ、別の月に設定して活動することも可能です。
・1年間の各都道府県の実施内容をまとめ、全協のホームページで「トラック運送業界での環境の取り組み」として公表します。

全日本トラック協会
「トラック運送業界の環境ビジョン2030」資料より

CO₂排出量算定を支援いたします

「**トラック運送事業者用CO₂排出量簡易算定ツール**」の公表により
トラック事業者におけるCO₂排出の把握ならびに削減の取り組みによる
業界方針の環境ビジョン2030の達成が期待される



荷主等からの要請や業界目標への貢献に向けて実際に算定を行いたい
が、ツールの使い方や結果の妥当性が不安という声も・・・



LEVOのCO₂排出量算定支援

CO₂排出量簡易算定ツールを活用したCO₂排出量算定の支援を行います

- ✓ 「どの事業者で」「どの期間で」「どのデータで」といった自社で保有しているデータに応じたCO₂排出量の算出方法の提案を行います。
- ✓ CO₂排出量簡易ツールの使い方やCO₂排出量算定に必要なデータの収集方法など、CO₂排出量算出に関する支援を行います。
- ✓ 支援費用については規模により検討・ご提案させていただきます。